

InterSystems公式

[Toshihiko Minamoto](#) · 2023年2月1日

InterSystems IRIS, IRIS for Health, HealthShare Health Connect ならびに InterSystems IRIS Studio 2022.3 リリースのご案内

この度、InterSystems IRIS Data Platform、InterSystems IRIS for Health、HealthShare Health Connect、および InterSystems IRIS Studio の 2022.3 をリリースしました。

2022.3

は、**継続的デリバリー (CD)**

リリースです。2022.3では、SQL管理、クラウド統合、KafkaおよびJMSアダプタ、SQL Loaderなどの分野にて、多くのアップデートや機能強化が実施されました。新たにFHIR SQL BuilderとColumnar Storageの機能が含まれていますが、**いずれもまだ実験的な機能です**（本番用ではなく、アクティブなEarly Access Programが実施されています）。

リリース・ハイライト

プラットフォームの更新

InterSystems IRIS Data Platform 2022.3 では、実運用ワークロード向けに以下のOSのサポートが追加されます。

- Oracle Linux 9
- SUSE 15 SP4.

SQL 機能強化

InterSystems IRIS SQL では、システムで読み取り可能なクエリ・プランの形式を提供するようになりました。この新しいオプションを使用すると、`$$SYSTEM.SQL.Explain()` メソッドは、アクセスするテーブルとインデックスに関する詳細な情報を含む JSON ベースのクエリプランを生成するようになりました。以前のXMLベースの形式では、異なるステップを記述するために簡単な英語のフレーズを使用していましたが、新しい形式は、より徹底した分析やクエリプランのグラフ表示を行いたいツールから利用しやすくなっています。

このリリースでは、SQL文のランタイムパラメータをサンプリングするオプトイン機能を導入しています。ステートメントインデックスはすでに、詳細なランタイム統計や各SQL文のクエリプランなど、豊富なメタデータを記録しており、通常、キャッシュドクエリのコードをパラメータ化するブレースホルダに任意のリテラルを代入しています。現在、ステートメントインデックスは、これらのパラメータの実行値のサンプリングで拡張することができます。これらを正規化されたSQL文と組み合わせることができ、例えば、別の環境に対して実行される代表的な負荷を構築したり、新たなハードウェア環境のベンチマークや異なるインデックスセットでの実験などが可能です。

InterSystems IRIS SQL は、CREATE SCHEMA および DROP SCHEMA コマンドをサポートし、アプリケーション環境の設定と消去のスクリプトに含めることができました。

スピード・スケール・セキュリティ

このリリースでは、InterSystems IRIS シャードクラスタに対して完全な弾力性が提供されます。DBA は API メソッドを呼び出して、シャードを削除するようにマークできるようになりました。このメソッドが発行されると、指定されたシャードからクラスタ内の他のデータノードにデータが直ちにオフロードされ、すべてのデータバケットが他のシャードに正常に移動されると、そのノードが自動的に切断されます。このプロセスはオンラインリバランス

シングと同じメカニズムを利用しているため、ユーザーはデータの移動中もシャードされたテーブルへの問い合わせやデータの取り込みを継続することができます。

アナリティクス・AI

- InterSystems Reports (Logi Report 19.2)のバージョンを更新しました。主な改善点は以下の通りです。
 - ブックマーク機能 - Webレポート上のパラメータやフィルタを保存可能
 - Report Studio は、Report Server 上で利用でき、Server から直接レポートの追加編集が可能です。
- Adaptive Analytics (AtScale2022.3) の更新版 主な改善点は以下の通りです。
 - Microsoft Excel のタイムライン機能をサポート
 - データカタログベンダーにAtScale Semantic Layerを公開するためのData Catalog API

これらの機能の詳細については、以下のリンクから入手できます。

- InterSystems IRIS 2022.3 [documentation](#) and [release notes](#)
- InterSystems IRIS for Health 2022.3 [documentation](#) and [release notes](#)
- HealthShare Health Connect 2022.3 [documentation](#) and [release notes](#)

ソフトウェアの入手方法

通常通り、CDリリースには、サポートされているすべてのプラットフォーム用の古典的なインストール・パッケージと、Dock

erコンテナ形式のコンテナ

・イメージが付属しています。完全なリストについて

では、[サポートされるプラットフォーム](#)に関するドキュメントを参照してください。

インストール・パッケージとプレビュー・キーは、WRC の [Continuous Delivery Releases](#) サイトまたは[評価サービスの Web サイト](#)から入手できます。

InterSystems IRIS Studio は、[コンポーネント配布ページ](#)で入手できます

InterSystems IRIS および IRIS for Health の Enterprise Edition と Community Edition の両方、および対応するすべてのコンポーネントのコンテナ・イメージは、新しい [InterSystems Container Registry の Web](#) インターフェースから入手できます。



docker コマンドについての詳細は、こちらの投稿をご覧ください: [Announcing the InterSystems Container Registry web user interface](#)

このリリースのビルド番号は 2022.3.0.606.0 です。

FHIR SQL Builder

先に説明した通り、FHIR SQL Builder 実験的な機能であり、アクティブな EAP (Early Access Program) の一部です。この機能をご試用いただくには IRIS for HealthのプロダクトマネージャであるPatrick Jamieson (patrick.jamieson@intersystems.com) までご連絡ください。

[#リリース](#) [#HealthShare](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#) [#InterSystems公式](#)

ソースURL:<https://jp.community.intersystems.com/post/intersystems-iris-iris-health-healthshare-health-connect-%E3%81%AA%E3%82%89%E3%81%B3%E3%81%AB-intersystems-iris-studio-20223>
